

見積もりから完成・お支払いまでのチェック法

さて、あなたが実際に塗装替え・外装リフォームをしようと思われたら、ご予算に合わせて業者から見積もりを取り寄せることとなりますが、ここでは見積書のチェック法からご契約・着工・そして完成、引き渡しまでについてご説明いたします。

見積書に合わせて、仕様書・調査診断書も必要です。

建物は人の体と同じです。人も年齢を重ねるとともに、定期的な健康診断をします。健康診断で発見された病気をよりよい治療法で治療しますね。

建物も同様に定期診断をなくとも、施工する前には建物の現状を知るために調査診断書が必要不可欠です。

そして、調査書にもとづいて仕様書を作成します。

調査診断書・仕様書とご説明すると、難しそうですが、要するに、今どこが、どのような状態なので、どの箇所にどのような工法をします。といったご説明とご理解していただけたらと思います。

ただ見積書の金額だけでは、その内容を理解しにくいと思います。

原則的に無料のはずですから、調査書・診断書を是非ご請求ください。

見積書は全体で・・・

「この部分（戸樋・軒裏・雨戸など）はまだきれいだからいい」よくこんな話を耳にします。

確かにそれも理解できますが、まずは全体の総額を、見積もりしてもらおうことをお勧めします。

その後で、予算に合わせて、不必要な部分を削除すればいいのです。